

令和5年度 第1回学校運営協議会 議事録

日時：令和5年6月8日（木） 午後1時30分から午後3時10分

場所：軽井沢中学校 大会議室

出席者：会 長 細萱 昇

副会長 福原 未来

学校運営協議会委員 8名

軽井沢東部小学校校長 川崎 圭一

軽井沢中部小学校校長 阿部 純

軽井沢西部小学校校長 田野 公章

軽井沢中学校校長 山崎 伸一

行政関係 外川 善行（生涯学習課長補佐兼生涯学習係長）

事務局：金井 章宏（こども教育課長補佐兼学校教育係長）

佐藤 朋葉（こども教育課学校教育係）

【校内見学】 13 : 30～14 : 30

1. 開会

＜こども教育課長補佐兼学校教育係長＞

只今より、令和5年度第1回学校運営協議会を開催いたします。来校した際にお渡ししたアンケート用紙は最後、机の上に置いておいていただきますようお願いいたします。

最初に代わられた委員の紹介をさせていただきます。

－ 説明 －

2. 会長・副会長の選出

＜こども教育課長補佐兼学校教育係長＞

早速ですが、お手元の次第の2、会長・副会長の選出にうつらせていただきます。

軽井沢町学校運営協議会規則第7条「協議会に、会長及び副会長を置き、委員の互選により選任する」の規定により、委員のなかから選出したいと思います。推薦のある方はいらっしゃいますか？

いらっしゃらないようでしたので事務局より、会長に細萱昇さん、副会長に福原未来を推薦したいと思います。よろしいでしょうか？

(拍手)

細萱さん、福原さん1年間お願いします。

それでは以降につきましては会長に議事の進行をお願いしたいと思います。

＜細萱会長＞

昨年度よりこの学校運営協議会が始まり、委員をさせていただいてますが、昨年度最後の委員会の際にある校長先生は「コロナ禍で非常に制約された学校運営を余儀なくされてきた。今までのやり方を踏襲できず、新たな学校運営を生み出さなければならなかった。それ以上に大変だったのは、生徒間のかかわりや、PTA活動、学級懇談会などのつながりが難しくなってしまった」という話を聞きました。そういった話を聞き、私は生徒をよくするためには学級を、学級をよくするためには学校を、学校をよくするためには地域をよくしていかなければならないと感じております。当町はISAや風越学園、SC軽井沢など様々なものがあるところです。子ども達の成長のためにもそういったところともつながりを持っていかなければいけないと思います。

この学校運営協議会の会長として精一杯進めてまいりたいと思いますのでよろしくお願いいたします。

3. 議題

＜細萱会長＞

続きまして議事に移らせていただきます。東部小学校校長につきましては所用があり途中で退席となりますので、議題の（１）と（２）をまとめて発表していただきます

質疑は議題ごとに全ての学校が説明終わりましたらまとめてお聞きしたいと思います。

（１）学校評価について

＜軽井沢東部小学校＞

東部小学校では重点目標で「自分でつくる」「仲間と一緒に作る」子どもたちの育成を掲げています。そのためにつけたい力として①自らをコントロールする力②他者とつながる力③新しいものを創り出す力がありますがそれを達成するための取り組みとして「対話」「異年齢活動」に特に力を入れています。

子ども同士が話をして解決していき、人から教えてもらうのではなく、子ども自身で学び成長する活動。それを「対話」としています。また、「異年齢活動」は、本校が単級だからできることを行っています。1学年から6学年までが一緒になった、縦割りのグループを作りその中で活動を行います。今年度は研究授業が本校であります。そこでも異年齢活動を行う予定となっております。

授業づくりに関しましても、一人ひとりの学びに寄り添った対応を大切にしながら行っていきたいと思います。また、今年度に入り2カ月経ちましたが、1年生を迎える会では6学年は計画を立て、校内でのかくれんぼを行いました。そういった子どもが自ら考えて実施することができる学校であるからこそ、その面をこれからも伸ばしていきたいと思っております。

今年度は年間予定表のとおりとなりますのでご覧ください。

ー東部小学校 川崎校長退席ー

＜軽井沢中部小学校＞

本校は、生徒491名、職員55名、通常学級16、特別支援学級4でスタートいたしました。1年生95名元気に過ごしております。

学校目標は「やさしく・かしこく・たくましく」としておりまして、具体的には本校のグランドデザインに記載させていただいています。その学校目標を達成するため、学校長の願いを3つの柱として立てております。これに関しましても、子どもたちの様子を見て一年間かけて新たに考えていきたいと思っております。

「やさしく」の部分は、自分も周りも大切にすること。「かしこく」は自ら学ぶ楽し

さを味わい友と学ぶこと。「たくましく」は健康で根気強く取り組めるということ。そのような具体目標でいます。そこで今年度は異年齢の学習を頑張っていきたいと考えています。本校は1学年と6学年、2学年と5学年、3学年と4学年というようにペアの学年があるのですが、まじりあって共に学習を行う場面を作ったりしたいと思います。

グラウンドデザインではかしこくの部分から授業研究の3つの柱というものが出ておりますが、これは職員が子どもの様子を見て、頑張りたいと考えているものです。「個が生きる学びの実践」は特別な配慮を要する子がどの学年にも複数人いますので、その子たちが楽しく生き生きと学習に向かえるようにするにはどういう支援が必要か考えていくということです。これは通常学級で大勢の子ども達に対しての授業でも必ず役にたつものですので、特別支援に関する職員だけでなく、いろんな職員が関わって研修していきたいと思います。「探究的な学習の実践」では、町制100周年ということもあり、地域にでかけ学んで来ようと考えています。職員のなかにも軽井沢町に住んでいない者もおりますので、まずは職員が行き、感じていいな・すごいなと思ったところに熱量をもって授業に活かしていきたいと考えています。県でも個別で最適な学習といわれています。同じ教材で、同じ学習の仕方で、同じ場所で全員が机に座って先生の言うことを聞いて行う学習からどれだけ脱皮できるかという部分が課題でもあります。「多様な学びの実践」ではICTの授業について11月10日に公開させていただく予定です。

先日行われた運動会は、子どもたちに主導権をできる限り渡して行えないかと、開会式を含め子どもたちで考えて行うことができました。

<軽井沢西部小学校>

本校は児童377名、職員48名、通常学級12、特別支援学級5でスタートいたしました。児童数がどんどん多くなっており、本年度はグラウンドにプレハブを4教室分2棟建て、学習を行っております。職員に関しても10名も増えております。増えた理由としまして、軽井沢町で初めて町立学校へ医療的ケア児と呼ばれる日常的に呼吸器等医療的行為が必要な児童が入学してきました。初めてのことであり、命にもかかわることですので大変悩みながら日々を過ごしております。来校いただいた際には学習の様子なども見ていただければと思います。

さて、本校のグラウンドデザインを見ていただきますと、「自律」「探究」「共生」という文字が出ておまして、昨年度は重要な3つの柱という形で書かせていただいたのですが、「自律」は柱とかではなく全ての教育活動はこの「自律」に向かっていく。ということで書かせていただいております。そして、「探究」や「共生」を切り口にして「自律」を目指していった先には、「じぶんでかんがえ みんなでつくる」という学校教育目標につながっていくのではないかと思います。

また、校長の願いの2段目になりますが、「様々な人とつながり、多様な価値観を受け入れ、多くの人々と共に生きる態度や人の幸せを自分の幸せと感じる人間性を身につけ

てほしい」と書かせていただきまして、年度当初に子どもたちとその部分について確認し、ハッピーな学校にしていこうねということでスタートしています。

「探究」については昨年度の学校評価でも職員が一番取り組めていなかったところなので、今年はこの「探究」を大事にしていきたいと思っています。軽井沢学という中学校につながる導入的な部分で、自然や様々な文化的な施設等を学び軽井沢町ってこんなに素敵な町だよということを知る活動を探究的に行っていきたいと思っています。また、「共生」についてですが、異年齢の「共生」。コロナ禍でできなかった地域の皆様との「共生」。そういったものを大切にしながら、本年度は地域のなかの様々なサークル、I S A Kや敬老園などそういった施設ともつながって「共生」することで、「自律」を学んでいきたいと思っています。

先ほど申し上げた I S A Kとはすでに交流を進めておりまして、イタリアやフランスから来ているお子さんもいますので、多様な言語にふれて、実際に教室に入って関わって頂くなども考えています。

また、学校だよりの5月号で呼びかけさせていただいたのですが、給食後の清掃の時間である13時15分から13時30分の15分間にお手伝いに来ていただけないかと地域の皆様に呼びかけを行っています。掃除箇所としますと全部で50か所あり、職員で全て見ることはできません。そこで地域の皆様の手を借りて子どもたちを育てていく、そんな場にしたいと思っています。

その他の取り組みとしましては、教科担任制を多くの学年で行い、今までであれば理科の先生や音楽の先生は全ての単元を持つイメージですが、国語や算数なども単元ごとに一クラスだけでなく他のクラスも教えていくといった形で、多くの先生がつくことで相談などもしやすい環境になると思います。また、自由進度学習も必要に応じながら実施を行っています。

最後になりますが、先日1学期のいじめアンケートを校内で実施したのですが、今までの悲しい思いをしたことありますか？などのマイナス的なことを聞くものだけではなく、友達に言われてうれしいことはありましたか？や、何か幸せになった場面などがありますか？という質問を試みたところ5段階評価のうち4や5などの高評価で答えてくれたところから、文章などもプラスの面に目を向けていくことも大切だと感じました。また次回は今回のアンケートについて話せばいいと思います。

<軽井沢中学校>

現在ちょうど中体連の大会がピークを迎えておりまして、先日は陸上が始まっております。これからは球技系も始まるということで子どもたちも一生懸命頑張っているところです。

では、本校のグランドデザインに掲載していますが、教育目標は「知力と体力にあふれ、心身ともにたくましい、心豊かな生徒の育成」～すてきな軽井沢人になろう～とな

っております。それを達成するため、具体的な重点目標として、人間力の向上を言うキーワードを上げております。そのための3つのコツというものがございますので、それについて発表させていただきます。

「軽井沢町に学ぶ場の充実」ということですが、先ほど西部小学校の発表にも出てきた軽井沢学という地域を学ぶ学習を1年生を中心に行っております。今年度1年生は白馬村の唐松岳で登山を行います。そこで白馬村のよさと軽井沢町を色々比較対象しながら、子ども同士で探究的に学ぶ仕組みを作っております。また、2年生は町内の事業所の皆さんに協力を得て、職場体験学習を行う予定です。新型コロナウイルスの規制が緩和されましたので従来通り実施できるかと思っておりますので、軽井沢町のよさを再確認してくれればよいなと思っております。

「生徒が自ら決められる場の充実」は生徒会活動など子どもたちのなかで自ら考えて実行できる場かと思っております。その中でも文化祭は久しぶりに規制のない中で実施が想定されるため、自主的な考えを取り入れながら思い出に残る文化祭になるよう、職員一同サポートしていきたいと考えております。

「想像力を働かせる場の充実」は様々な場面が想定されますが、学習のベースとなる基礎的、基本的な知識技術の定着を図りつつ、生徒が主体となって考える課題解決学習であったり、探究的な学習になるように教師一丸となって事業改善に取り組んでいます。

さて、これらを達成するにはまずは安心安全な学校づくりが必要であると考えております。4月の職員会でも私は強く職員に話させていただきましたが、生徒と生徒、生徒と教師が良い関係づくりができるようにするが安心安全につながると思っております。生徒理解をしていくうえで大切になってくるのは職員からの報告連絡相談を密にしていることです。情報共有を行いながら子供たちの理解を深めて行く。そして、その子に応じた支援を考えていきたいと思っています。軽井沢町からはスクールサポーターや特別教育支援員、個々との相談員などサポートをいただいています。そういったところから学校教育目標に掲げている素敵な軽井沢人になることができるよう今後とも頑張っていきたいと思っております。

<細萱会長>

各学校の経営方針について質問、意見等ありましたら、お願いいたします。

―意見なし―

また、お時間のある時ゆっくりグランドデザインなどを読んでいただいて、何かありましたら次回お聞きしたいと思います。

今年度は3つの小中学校の校長先生が変わり新体制となっておりますが、校長先生同士で密に連絡をとっていただき情報交換を行いながらしていただきたいと思っております。また、西

部小学校では10名も職員が増えてしっかり把握するのも大変であり、子どもを理解することもすごく大変だと思います。ですが職員をまとめられればグランドデザインに掲げているものに沿った形でできるのではないかと思います。

各学校の話聞かせていただいて、やはり自立や生きる力とか主体性などが子どもたちにとって必要だと見えてきます。私たち地域の力を活用していただき、学校運営に活かしていただきたいと思います。

(2) 今年度の計画について

<細萱会長>

続きまして、議題(2)今年度の計画について、各学校長より説明をいたします。質問はすべての学校が説明終わってからまとめて聞きますのでお願いします。

<軽井沢中部小学校>

年間予定について説明。

通知表につきまして、学期ごとの計3回家庭にお渡しするのではなく、年2回の通知となっております。1回目は9月に懇談をした際に渡し、2回目は3月に渡す予定です。そして10月10日の参観日ではPTAの人権講演も予定しております。12月の参観の際には情報モラルの講演会を実施し、保護者の方にも聞いていただく予定です。

<軽井沢西部小学校>

年間予定について説明。

いつ来ていただいても大丈夫ですがよろしければ参観日等は良いきっかけになりますので、よろしければご来校いただければと思います。特徴的な行事としては9月29日に八風山登山と行います。往復26キロ、子どもたちが自分で目標を決めて歩くというもので、先ほどのグランドデザインにもありましたが「粘り強く」に通じる一つの場化と思いますのでよろしければ八風山に通じる道に立っていただいて応援していただければありがたいです。

<軽井沢中学校>

年間予定について説明。

少し年間予定とは異なりますが1・2年生を対象に水曜日の放課後に学びタイムというものを行って行っていました。地域の学習支援ボランティアの方に来ていただいて、子どもたちの学習を見守っていただくものがありましたが、コロナもあり行っておらず今年度ボランティアの方がおりません。皆さんのほうでできる方がいれば教えていただければありが

たいです。よろしくお願いいたします。

<細萱会長>

今年度の計画について質問、意見等ありましたら、お願いいたします。

<松村委員>

中学校の学習支援ボランティアについて何か必要な資格はありますか？

<軽井沢中学校 山崎校長>

必要ありません。教えるというよりも子どもたちが勉強している姿を見ていただいて、アドバイスを少ししていただくような感じです。

4. その他

<細萱会長>

次に、(4) その他について事務局よりお願いします。

<こども教育課長補佐兼学校教育係長>

事務局より1点お願いします。次第にも書かせていただきましたが今後の予定になります。9月15日金曜日に中部小学校で、12月18日月曜日に西部小学校で、来年の2月13日火曜日に東部小学校で実施予定です。変更等生じた際はいただいておりますメールアドレスのほうへ連絡差し上げますのでよろしくお願いいたします。

5. 閉会

<細萱会長>

以上をもちまして、令和5年度第1回学校運営協議会を閉会いたします。

本日頂きましたアンケートについては結果をまとめましたら、メール又は郵送にて送付いたしますのでご確認ください。

今回は9月15日に軽井沢中部小学校にて開催予定ですので、よろしくお願いいたします。